

これからの 薬剤師に必要とされる重要なスキル

実践的ケーススタディ 薬剤レビュー

Medication Review

薬剤師のためのプロセスガイド 第2版 日本語版

Timothy Chen, Rebekah Moles, Prasad Nishtala and Ben Basger 著
一般社団法人上田薬剤師会 訳

本書は、オーストラリア薬剤師会が作成した薬剤レビュー（薬物治療レビュー）学習のためのケースブック「Case Studies in Practice Medication Review: A Process Guide for Pharmacists (Second Edition)」の日本語版です。

薬剤レビューに不可欠な意思決定力や判断力を養うため、具体的な症例を題材にして、情報の収集・分析・伝達といった流れ（手順）をわかりやすく示しています。

研修テキストとしてグループディスカッション等にも活用できる一冊です。



B5判/244頁/定価4,000円+税

“薬剤レビュー”とは

薬物治療に関連する問題を薬剤師が評価し、患者固有の情報を収集・分析して医師や患者等に伝達する体系的なプロセスです。

その目的は

薬剤師による薬物治療の評価に基づく医師への提案および患者等に対するアドバイス（リスクの最小化とベネフィットの最大化）にあります。

本書の構成は裏面の内容見本をご覧ください▶

株式会社薬事日報社

本社：東京都千代田区神田和泉町1-10-2
支社：大阪府大阪市中央区道修町2-1-10
ホームページ：<https://www.yakuji.co.jp/>

TEL：03-3862-2141 FAX：03-3866-8408
TEL：06-6203-4191 FAX：06-6233-3681
オンラインショップ：<https://yakuji-shop.jp/>

具体的な25の症例を基に、①症例情報 ②情報収集、③情報処理、④情報伝達というステップで薬剤レビューのプロセスを学ぶことができます。

内分泌系

症例 2

① 症例情報

患者は65歳女性。よく来店する患者で、2型糖尿病および高血圧の病歴がある。今日はメトホルミン850 mg 1日2回の処方箋を持って来店した。患者がメトホルミンを服用していたことはわかっているが、この用量ではなかった。体型は中肉中背(体重65 kg、身長165 cm)。

② 情報収集

◆患者から得る情報

質問例

- ・糖尿病コントロールはどのような状況ですか。ご自分で血糖値を管理していますか。糖化ヘモグロビン値はどのようになっていますか。
- ・処方されたおりに薬を服用してきましたか。
- ・メトホルミンの用量の変更について医師と話し合われましたか。変更の理由を知っていますか。
- ・食事と運動のプログラムはどのような状況ですか。
- ・処方箋薬やOTC薬、サプリメントを全部含めて、現在どのような薬を使用していますか。
- ・血圧に関する治療はどのような状況ですか。ほかに病気はありませんか。どのような病気ですか。
- ・アレルギーはありますか。どのようなアレルギーですか。
- ・お酒を飲んだり、煙草を吸ったりしますか。量はどのくらいですか。

患者が直近で医師を受診したときは、かかりつけの医師の都合がつかなかったため、別の医師であったとのことである。患者はいつともは違う強度のメトホルミンが処方されたことに気づいていなかった。医師は検査結果から糖尿病コントロールの状況が悪化している旨を患者に伝えていた

薬局記録から得られた情報

患者の調剤歴を簡単にレビューし、以下の薬剤を服用していることを確認した。

商品名	一般名	用法・用量	備考
ダイアベックス	メトホルミン	500 mg BD	過去3年間
ノルバスク	アムロジピン	10 mg D	過去5年間
ソルブリン	アスピリン300 mg	1/2 D	

メトホルミン用量が今から500 mg(1日2回)から850 mg(1日2回)に変わったことを確認。

④ 情報伝達

◆患者との話し合い

メトホルミンの正しい用量のほか、乳酸アシドーシスの初期症状(食欲不振、悪心嘔吐、腹痛、痙攣および体重減少)について患者に助言する必要がある。患者が所持している血糖測定器の使用法を実演することも必要である。血糖検査のミス(原因)による手の湿りや汚れ、試験紙の使用期限切れ、試験紙の間違った保存法、血糖測定器の間違ったコード化やキャリブレーション、血糖測定器の過度の発熱である。体系的に血糖検査の結果を記録するよう促す必要がある。

薬剤の定期的レビューの重要性について患者と話し合う必要がある。健康な生活習慣の維持の重

◆医師への連絡

患者のかかりつけの医師に宛てた手紙の見本

医師の住所
日付
○○先生
△△様につきまして
△△さん(65歳)は当薬局によく来られる患者で、2型糖尿病と高血圧の治療を受けておられます。下記の薬剤を定期的に使用されています。

商品名	一般名	用法・用量	コメント
ダイアベックス	メトホルミン	500 mg BD	過去3年間
ノルバスク	アムロジピン	10 mg D	過去5年間
ソルブリン	アスピリン300 mg	1/2 D	

薬剤師の住所

① 症例情報

症例からどのような情報を収集すべきか考えるための現時点において確認できる患者の状況(年齢、性別、身長、体重、疾患および病歴等)。

② 情報収集

患者への問診(質問例を記載)、服用歴、検査値など症例を考察する上で必要な情報の収集。

③ 情報処理

2型糖尿病

2型糖尿病は環境的影響によって誘発される代謝性疾患であり、遺伝に左右されると考えられる。膵臓によるインスリン分泌の異常、肝グルコース産生の抑制不全、標的組織(筋肉など)でのインスリンの作用に対する抵抗性という主に3つの異常が認められる。糖尿病は冠動脈性心疾患、脳血管疾患および末梢血管疾患による罹病および死亡の大きな危険因子である。そのため、喫煙や脂質異常症、高血圧などの危険因子を積極的に管理する必要がある

2型糖尿病の危険因子には以下のものが挙げられる

- ・耐糖能障害または空腹時血糖異常
- ・妊娠糖尿病の既往歴
- ・年齢45歳以上で、以下の危険因子の少なくとも1つに該当
 - 肥満(BMI (Body Mass Index) 30 kg/m²以上)
 - 2型糖尿病のある一親等の親族
 - 高血圧
- ・ほかに危険因子がない場合は年齢55歳以上

薬剤レビューの所見および推奨事項

所見	推奨事項
メトホルミンと乳酸アシドーシス	
患者はメトホルミン850 mg(1日2回)とする新しい処方箋を提示している。この用量は患者の調剤歴の記録(500 mg(1日2回))よりも高い。腎障害のある患者ではメトホルミンの用量を調整する必要がある。血清クレアチニン、体重および年齢に基づき、Cockcroft-Gault式を用いると、推定クレアチニンクリアランスは39 mL/分となる。クレアチニンクリアランスが30~60 mL/分の人への推奨用量は1日1 gである。腎障害は、まれではあるが重篤な(死に至ることも多い)副作用、乳酸アシドーシスの危険因子であるため、このことは重要である。乳酸アシドーシスの初	乳酸アシドーシスのリスクを最小限に抑えるため、患者のメトホルミンの用量を推定クレアチニンクリアランス39 mL/分に基づいて500 mg(1日2回)に減量することが推奨される。ただし、メトホルミン使用の禁忌がある患者を対象とするいくつかの試験では乳酸アシドーシスの発症率が増大しなかったことが認識されている ³ 。ほかに薬物療法が必要である。メトホルミンにスルホニルウレアを併用することが考えられる。低血糖のリスクが低~中~中のスルホニルウレアにグリクラジドやグリグリジドがある ⁴ 。患者のクレアチニンクリアランスが30 mL/分未満になれば、メトホルミ

③ 情報処理

得られた情報を基にどのような問題があるか分析・特定し、その評価に基づいた意思決定や判断の実践。

④ 情報伝達

患者やその家族、あるいは介護者への情報提供・アドバイスや医師に対する薬物治療への評価および提案。

【申込書】

年 月 日

ISBN : 978-4-8408-1503-1	実践的ケーススタディ 薬剤レビュー 薬剤師のためのプロセスガイド 第2版 (日本語版)	定価4,000円+税	申込冊数	冊
ご送付先住所 〒		書店様番線印(書店申込)		
貴施設・貴社名		部署名		
ご担当者名		お電話番号		

●書店へのご注文は冊数をご記入の上、お近くの書店にお申込み下さい。
●弊社に直接ご注文の場合には必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
別途送料(国内1箇所送付につき550円、重量が5kgを超えた場合は850円)を頂戴します。

薬事日報社 TEL : 03-3862-2141
FAX : 03-3866-8408